

- 弘前大学人文社会科学部 -

地域行動コース 実習成果発表会

弘前大学生が青森県内をフィールドに
未来を作り出す住民の営みを調査しました。

成果を報告しながら、
学生と住民とが青森県の未来について
対話するための発表会です。

-Groups-

気になる木

食べる・儲ける・癒される・守る...4つの視点から考える
青森の森林資源の活用と可能性

SDGs

地域のみなさんの望む未来に住民意識調査や
道の駅での行動調査の深掘りからアプローチ

Time Geographic

限られた時間と空間の中で過ごす私たちの
生活や行動を地理学的に解明

インサイト

「人の行動を変えるきっかけを作る」を
テーマにした社会実験やインパクト評価

-Contents-

センセイが選ぶ一冊

地域行動コースのセンセイたちおすすめの本を選びました。
書いた先生がその場にいるかも……!!

大学なんでも相談所

2・4階で、学生や教員と大学について話したり
相談したりできます。中学生・高校生・保護者の方々、
どなたでも気軽にお越しください!

2023 **2.4** SAT

13:00 - 16:30
ヒロロ 4F フードコート & 2F TSUTAYA 中央

主催：弘前大学人文社会科学部 共催：ヒロロ

企画：弘前大学人文社会科学部 古村健太郎 コーディネート：byplayer 鎌田翔至

本プロジェクトは弘前大学人文社会科学部地域未来創生センターからの研究助成を受けて実施されます。

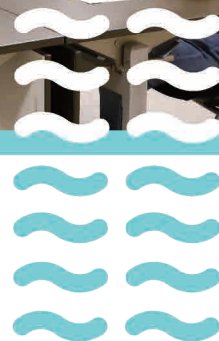
地域行動コースで 学べること。

社会学 人類学 社会心理学

地理学 統計学 地域研究



専門的な知見と社会調査の手法を駆使し、
社会の仕組みや変化、人間関係や集団のダイナミクスを紐解きます。
また、アクションリサーチやファシリテーションを通して、
社会と交流・議論する力を養います。



気になる木

食べる・儲ける・癒される・守る...4つの視点をもって、
青森の森林資源利用の現場を訪ね、そこに携わる人々の活動から
森林のもつ多様な可能性について考えました。

【発表】 2階 13:00-16:00 ポスター



SDGs

鶴田町や小田原市と協力して自治体の政策形成に不可欠な
住民意識をアンケートやワークショップから、
また横浜町の道の駅の将来像を行動観察調査から明らかにしました！

【発表】 4階 14:00-15:00 プレゼンテーション



Time Geographic

限られた時間と空間の中で過ごす私たちの生活や行動にとって、
公共交通、天候状況、人々の認知距離が
どのような影響を与えるか地理学的に解明します。

【発表】 4階 15:00-16:00 プレゼンテーション



インサイト

人の行動を変えるきっかけを作るをテーマに、
弘前市から社会的インパクトを生み出す活動や、
むつ下北未来創造協議会のインパクト評価を行いました。

【発表】 2階 13:50-16:00 ポスター
4階 13:00-14:00 プレゼンテーション

お問い合わせ

弘前大学人文社会科学部 古村 健太郎
Tel 0172-39-3218
Mail k-komura@hirosaki-u.ac.jp